

TV 報道検証【報道特集】 報告書

テレビ局：TBS	番組名：報道特集	放送日：2019年6月8日
<p>出演者：金平茂紀、日下部正樹、膳場貴子、日比麻音子 曹琴袖（引きこもりを取材）</p>		
<p>検証テーマ：オープニング、G20 が福岡市で始まる、アメリカへの不法移民問題、防衛省の調査データに誤り 東京福祉大学の留学生問題、イギリスの保守党党首選 【特集】天安門事件学生亡命の舞台裏</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本新記録サニブランが男子 100 メートルで 9 秒 97 ・オープニング ・G20 が福岡市で始まる ・アメリカへの不法移民問題 ・防衛省の調査データに誤り ・東京福祉大学の留学生問題 ・附属池田小事件から 18 年で追悼 ・イギリスの保守党党首選 ・北海道で踏み間違い事故 ・イギリスのバス車内で同性愛者が暴行される ・横浜市営地下鉄ブルーラインあすの運転再開できず ・津久井やまゆり園が再建に向けて説明会 ・執行猶予中も女性タレントに繰り返しストーカーを容疑者を逮捕 ・【特集】引きこもり苦悩の日々 ・【特集】天安門事件学生亡命の舞台裏 ・スポーツ報道 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープニング：結論→番組構成を考慮すると不十分 番組の冒頭で金平茂紀キャスターが「ええ、老後の暮らしのためには年金以外に 2000 万円の蓄えが必要だとした金融庁の報告書が波紋を広げています。政府は慌てて釈明していますが、年金は 100 年安心と言っていたのは他ならぬ政府だったのではないのでしょうか、場合によっては謝罪ごときでは済まないと思うのですが、皆さんどうお考えでしょうか。」とコメントしていた。 金融庁の報告書について触れられたのはこのコメントのみでこのコメントに当てられた時間は 21 秒だった。 「皆さんどうお考えでしょうか」と問題提起をしておきながら番組中でこの問題に触れないというのは番組の攻勢としては放送法第四条四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」という点では不十分ではなからうか。 ・G20 が福岡市で始まる：結論→特に問題なし G20 主要 20 カ国地域の財務大臣・中央銀行総裁会議が福岡市で始まったこと、初日は米中の貿易摩擦で世界経済が下振れする懸念が共有され日本は「アメリカが仕掛ける制裁関税などを理由に問題の解決は二国間ではな 		

く多国間の枠組みで」という考えを提起していること、他方で会議に先立ちアメリカのムニューシン財務長官は「中国との貿易交渉で閣僚級協議を開く予定は現時点でない」と話し追加関税も辞さない考えを改めて示すなど、緊張緩和は難しい状況であることが報じられた。

また、明日は巨大 IT 企業を対象としたデジタル課税のルール作りや新興国のインフラ投資の融資について議論されること、月末に大阪で開かれる G20 首脳会議に向け各国の協調はどこまで得られるのか日本は難しい調整が求められているとのことが伝えられた。

また VTR では日本銀行の黒田東彦総裁の「依然として不確実性が残っているということはそのとおりだと思います。特にまあ貿易関係ですね。」というコメントが取り上げられていた。

このトピックについて当てられた時間は 113 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・アメリカへの不法移民問題：結論→特に問題なし

アメリカのトランプ大統領は不法移民対策を巡るメキシコとの交渉が合意に至り 10 日に予定していたすべての輸入品への関税の発動を見送ると発表したとのこと、トランプ大統領は 7 日、Twitter に『アメリカはメキシコと合意に達した、月曜日に実施される予定だった関税は無期限に延期される』と書き込んだことが報じられた。

また、両国の共同声明ではメキシコがアメリカとの国境への警備隊配備を強化するなど不法な移民を抑制するための前例のない措置を講じることやアメリカへの難民申請者については速やかにメキシコに送還し審査結果が出るまでメキシコに滞在させる制度の履行を拡大する、などとしているとのことも報じられた。

このトピックについて当てられた時間は 61 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・防衛省の調査データに誤り：結論→特に問題なし

ミサイル迎撃システムのイーグリス・アショアの配備を巡って防衛省は今日、調査データに誤りがあったとして、配備予定地の秋田で地元住民らに謝罪をしたとのことが報じられるとともに以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"防衛省担当者「このような重大なミスが生じたことにつきまして、本当に申し訳なく思っておりまして、信頼というものを失墜しかねないというふうに我々、強く認識をしております。」

ナレ「防衛相は配備候補地の検討を行う中でレーダーの電波を遮る山がないかを調査し報告書にまとめました、この際、縮尺が異なる複数の地図データを経産に使用するという人為的なミスがあり報告書に記載されたデータが休暇書で間違っていたということです。」

地元住民「万一、事故が起きたらどうするんですか、またミスしましたと言うんですか、想定外でしたと言うんですか、我々の人生がかかっているぞ。」

ナレ「防衛省は配備予定地を見直す必要はないとしてますが、ずさんな調査に住民からは不安と反発の声が上がっています。」

このトピックについて当てられた時間は 72 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・東京福祉大学の留学生問題：結論→特に問題なし

名古屋市にある東京福祉大学系列の専門学校、保育・介護・ビジネス名古屋専門学校は留学生を受け入れている国際教養学科で一学年の定員 240 人の 9 倍近くに当たるおよそ 2100 人を今年度入学させていましたとのこと、その後の関係者への取材でこの学科では少なくとも 5 年にわたり定員を大幅に超える留学生を受け入れていたことがわかったとのことが報じられた。

また、2015年度はおよそ2100人と年を追うごとに増え続けていて愛知県もこうした情報を把握していて愛知県は在籍している学生の数について県に虚偽報告を行っていた疑いがあるとして実態調査を進めているとのこと、専門学校側はJNNの取材に定員超過を認めた上で日本語学校からの受け入れ要請を断りきれなかったとしているとのことあわせて伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は75秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・イギリスの保守党党首選：結論→特に問題なし

イギリスの保守党党首選が本格化していることについて以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

ナレ「メイ首相の辞任により今後本格化する保守党の党首選挙、事実上の新首相を選びとなりますがアメリカのトランプ大統領は。」

トランプ大統領「ボリス（ジョンソン前外相）は知ってるよ、前からいいと思っている、いい首相になるだろう、ジェレミー（ハント外相）も知っている、いい首相になると思う。マイケル（ゴーフ環境相）は知らないけど…、いい首相になるかな？教えてよジェレミー。」

ナレ「三人の打ち、現時点で最有力とされるのがボリス・ジョンソン前外相です。」

ジョンソン前外相「もし首相になったら10月31日に合意があろうがなかろうが離脱しますよ。」

ナレ「ジョンソン氏や同じく出馬を表明しているラブゼWんEU離脱相らは次の離脱期限となる10月31日にいわゆる合意なき離脱も辞さない構えを見せています。これに対し、ハント外相やゴーフ環境相らは合意なき離脱は避けたい考えです。」

舛場聖治（報告）「保守党の選択に影響を与えそうなのが強硬派の新党EU離脱党が集める支持です。」

ナレ「7日発表の世論調査では明日総選挙があったらどこに投票するかとの設問にEU離脱等と答えた人が26%と最も多く、保守党は18%で四位でした。今週イングランド中部のピーターバラで行われた下院補選では野党労働党が議席を守りましたが、保守党は得票率を大幅に減らし三位、代わりにEU離脱等が初の国政選挙にもかわらず2位に入りました。」

ナイジェル・ファラージ（EU離脱党党首）「あの選曲での実績ゼロなのにもう少し労働等に勝てたんですよ、残念です。」

ナレ「EU離脱党の支持者の中には保守党に幻滅して鞍替えした層が一定数いるため、保守党内でもより強硬な離脱を進める党首を求める圧力が強まっています。」

コービン（労働党党首）「言い争いをしている保守党の党首候補者たちよ、かかってこい。我々はいつでも総選挙を受けて立つ。」

ナレ「ただ、国民投票の際、61%が離脱と投票した地域でもEU離脱党が勝てず、公的補助のカットや雇用の問題を争点にした労働党が勝ったことは離脱だけが国政の課題ではないことを示しています。」

このトピックについて当てられた時間は167秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・【特集】天安門事件学生亡命の舞台裏：結論→特に問題なし

香港の人たちが天安門事件の学生を海外に亡命させた舞台裏について特集されていた。

以下に朱記したようにVTRがCMで2つに区切られたものが取り上げられていた。

[VTR 1]

ナレ「天安門事件から30年。今年の追悼集会には去年を6万5000人も上回る18万人が集まった。参加者たちはろうそくを手に、犠牲者を悼み、弾圧を正当化する中国政府を批判した。」

ナレ「1989年6月、中国北京の天安門広場。民主化を求めて集まっていた学生らのデモ隊を人民解放軍が、武力で鎮圧した。中国政府の発表で、死者319人。実際は数千人という推計や、一万人を超えるとの見方もある。事件直後、当局に一斉指名手配された天安門の学生たち。彼らを香港の人たちが、力を合わせ、海外に脱出させた作戦は、黄雀行動と呼ばれる。日本ではほとんど知られていない秘密の作戦を追った。」

ナレ「黄雀行動の黄雀とは、中国や日本などに生息するアオジとされる。誰かが黄雀を捕まえるための罠を仕掛けたが、少年が罠から黄雀を放してあげたという中国三国時代の詩がある。そこから、黄雀行動と名付けられた。」

ナレ「この映像は、天安門事件の前の月、政府と、民主化を求める学生の対話が行われたときのものだ。」

李鵬首相（当時）（字幕）「学生たちには考え直してほしいどんな結末が待っているかを」

民主化運動の学生リーダー ウーアルカイシ氏（字幕）「学生が要求しているのは、人道的問題の解決。同じことを2度言わせないでください。」

ナレ「ハンガーストライキで倒れ、入院していた病院から、駆け付けたのが、学生リーダーの1人、ウーアルカイシ、李鵬首相を面前で批判し、世界に知られるようになった。事件後、指名手配された21人の学生らのうち、リストの2番目に挙げられたウーアルカイシは、黄雀行動で、中国からの脱出に成功した。30年後の今、彼は台湾で暮らし、民主化活動を続けている。直接話を聞くことができた。」

ウーアルカイシ氏（吹替）「当時、我々に自由を与え、亡命させてくれる国は、数えるほどしかなく、考えた末、香港しかないと思い、北京を離れ、南へ向かいました。」

ナレ「当時、イギリス領だった香港。黄雀行動には、民主派団体、知識人、芸能人、大富豪、さらに一般市民と、幅広い層の人々が、関わった。その一人が、キリスト教の牧師、朱耀明氏だ。民主活動家として、北京の学生を支援。天安門事件も六日前には、香港市民から得た募金を手に、北京入りしていた。」

朱耀明牧師（吹替）「天安門広場の英雄記念碑を見た後、精華大学、北京大学に行って、学生たちに会いました。2日にはウーアルカイシにありました。ウーアルカイシに「あった時、すでに事態は緊迫していた。」

朱耀明牧師（吹替）「天安門広場は6月2日には、すでに軍隊に囲まれて、非常に深刻な問題になっていました。私はウーアルカイシに言いました。鎮圧されるのは、時間の問題だ。必ず蹴散らされるぞと。しかし政府が戦車と銃を使って、自国の人民を殺すなんて、思いもしませんでした。」

ナレ「天安門事件の前日、朱牧師は、知人の結婚式にでるため、香港に戻っていた。そして、事件は起きた。」

朱牧師（吹替）「私は、祈りました。人々が虐殺され、血に染まっています。政府が武器も持たない青年たちを殺しています。神様、私たちにできることは何かないのでしょうか。」

"ナレ「一方、渦中にいたウーアルカイシ氏は、」

ウーアルカイシ氏（吹替）「北京で発砲が始まった後、我々学生リーダーは、みないずれ逮捕されると思っていました。戒厳令下でできた専門部隊がいて、捕まったら、人間の尊厳なんて、守られるはずありませんでした。」

ナレ「ウーアルカイシ氏ら、亡命を求めた学生たちは、北京などから、広大な大陸を南下し、沿岸の街へ向かった。そこから香港に船でひそかにわたった。」

朱牧師（吹替）「まず、秘密ルートの担当に、今助けを必要としている人物が、どこにいるかを連絡します。その人物を広東のどこそこに連れて行ってあげれば、その場所に迎える人々を派遣するとそう伝えるんです。」

ナレ「ウーアルカイシ氏の場合、北京から広州経由で香港に渡ろうとしたが、当局の手が迫ってきた。そのため、急遽、珠海から香港に向かうことにした。」

ウーアルカイシ氏（吹替）「珠海までは、中国国内の仲間が同行してくれました。そこからは香港の仲間が力を貸してくれました。」

"日下部「国内の友人は大丈夫でしたか？」

ウーアルカイシ氏（吹替）「何人も逮捕され、投獄されました。」

ナレ「学生の多くは、中国南部の沿岸から、船に乗って香港を目指した。私たちもかつての密行の現場に向かった」

日下部「このあたりずっといる船。この船はですね、みんな密輸にもかかわっているといわれている船ですね。あの一黄雀行動においては、こういった密輸船の存在が、非常に大きかったんですね。この辺りの海を知ろうとした船が、多くの学生たちを助けたわけです。」

ナレ「密輸船が中国の学生たちを運んだケースも多かった。黄雀行動では、密航の担当として、香港の裏社会の人間も重要な役割を担った。中国大陸が見えてきた、」

日下部「えー前方にはですね、深圳の高層ビル群が見えてきました。30年前に学生たちがですね、この河を渡った時には、こうした高層ビルなどというものはほとんど存在しなかったはずですよ。えーそういった意味で、まあ天安門事件以降、最も変わった町、それがこの深圳なんですよ。」

ナレ「脱出ルートに使われることが多かった中国側の港は、この深圳と珠海だった。ウーアルカイシ氏が船に乗ったのも、珠海で、この橋の先、マカオの隣にある。裏社会を取り仕切っていた大物の1人で、タイガーと呼ばれる男が用意した船は、特別なものだった。」

ウーアルカイシ氏（吹替）「当時アジアでそんなスピードが出る船は2隻だけ。横浜に1隻と、香港に1隻でした。中国の船は追いつけません。」

ナレ「ある日の夜10時ごろ、船は闇に紛れて珠海を出発した」

ウーアルカイシ氏（吹替）「その船は、スピードを出そうと思えば、出せますが、音をたてないようにして、我々はまず、公海へでました。」

ナレ「タイガーと呼ばれる男が自ら船を操舵。その間、しきりに話しかけてきた。」

ウーアルカイシ氏（吹替）「タイガーは乗せたのが、私とは気づかず、ずっとわたしに、あのウーアルカイシは今どこにいるんだろうね、とっていました。」

ナレ「ウーアルカイシ氏をのせた船は、およそ2時間で、香港についた。目の前には、香港の夜景が広がっていた。」

ウーアルカイシ氏（吹替）「自分が亡命するときこの美しい景色を見るとは、想像もしていませんでした。正直に言うと、当時景色を楽しむ余裕もなく、自分は国を離れなければ、ならないんだなという思いでいっぱいでした。」

ナレ「香港に上陸後、ウーアルカイシ氏は、すぐに香港駐在、フランス副領事の自宅へと駆け込んだ。そして、無事フランスへと、出国することができた。彼一人の救出に800万円以上が費やされたという。」

ウーアルカイシ氏（吹替）「私を密行させることは、きわめて危険な行為です。費用を出した人は、香港でとても有名だった歌手のアニタ・ムイ。それに市民から集めた募金も含まれます。私の命を救ってくれた彼らには、永遠に感謝し、永遠に借りができました。」

ナレ「一方、朱牧師は、一連の黄雀行動のうち、香港上陸後の学生を支援するチームの責任者だった。亡命のためのビザの手続きや、生活の世話などに追われた。」

朱牧師（吹替）「彼らが、すぐに香港から出ることができなかつたら、住む場所を探してあげなければ、なりません。農村を訪ねて、民主化運動の学生をしばらく止めてもらえよう、交渉しました。」

日下部「あちらに見える建物が香港中文大学ですね。そしてこちら側ですけども、ここのあたりはもともとですよ、大学生向けのアパートが多いところで、逃れた学生たちをかくまうにはうってつけの場所でした。」

ナレ「香港経由で海外に亡命した中国の学生は、およそ400人に上った。香港の人たちは、なぜこれほど熱心に

彼らを支援したのか。ルーツが同じだという親近感と、もう一つ、8年後に返還を控えていた香港の人たちは、中国で民主化の動きが芽生えたことに期待を寄せて支援したが、しかしあの事件で絶望に変わった。」

朱牧師（吹替）「中国で虐殺事件が起きたことは、私たちには、他人事ではありませんでした。1997年に香港の中国返還が迫っていました。だから事件は香港人に大きな衝撃でした。」

ナレ「それでも、朱牧師ら、香港の人たちは、黄雀行動を通じて、学生たちを必死で守ったのだ。そして」

ナレ「30年を迎えた今、香港では、かつて中国の民主化を支援した朱牧師らが、今度は全く違う形で、中国からの圧力にさらされている。4月下旬、朱牧師は、香港地裁に出廷した。自らが被告となった刑事裁判の判決を受けるためだ。」

日下部「えーここ、裁判所の前には、大勢の市民たちが集まってきて、混沌とした雰囲気になっています。えーこちらの方には、被疑者たちを支援するいわゆる民主派の人たち、そして道路を挟んだ反対側ですね。えーこちらにはですね、雨傘運動に批判的な、いわゆる親中派の人たちが集まって来ていて、こうやって中国の国旗などを立ててますね。」

ナレ「朱牧師は、5年前の大規模デモ、雨傘運動の指導者の一人だった。中国への返還後も、一国二制度が約束された香港。その行政長官選挙で、中国政府が認める候補しか、選べない制度ができた。デモはそれに対する抗議だった。学生らは、2か月半にわたり、香港中心部を占拠。合わせて1000人以上が、逮捕された。公衆妨害共謀罪などで起訴されたのは、朱牧師ら9人。この日は、被告たちに量刑が言い渡される。」

民主派「♪決して忘れてはいけません。暗黒の力が忍び寄ってきます。」

ナレ「一方の親中派は、」

親中派（字幕）「街を占拠した犯罪者だ！許さないぞ」

朱耀明牧師（字幕）「政府が人権を奪うことを許してはなりません。」

ナレ「法廷に向かう被告らを、支援者らは拍手で送った。判決が下された。朱牧師に対する判決は、禁固1年4か月、執行猶予2年だった。刑が猶予された5人は、法廷から出てきた。一方残る4人には、実刑判決が下され、身柄がそのまま刑務所へと送られることとなった。」

朱耀明牧師（字幕）「今日、彼らに実刑判決がでて、非常に悲しいです。何があっても、私の心は彼らとつながっています。」

ナレ「護送車が出てくる門の前には、刑務所へ送られる仲間を見送る人たちが。」

日下部「メディア、香港の地元メディアがですね、この車両にカメラをですね、向けているところです。執行猶予判決を受けた朱牧師が、刑務所へ向かう車両に向かってハンカチを振っています。」

ナレ「民主派が追い込まれていく香港。天安門事件を語り継いでいこうとする場所でも、」

日下部「えー3年前に事実上閉館に追い込まれてしまった天安門事件記念館ですけれども、今日、このビルでですね、再びオープンすることになりました。このビルの前にはですね、迷惑施設を地元を持ち込むなという反対の声を上げている人達が集まってきています。」

ナレ「反対運動の参加者の多くが、顔を隠している。」

日下部「中国政府が、この天安門事件の歴史を隠そうとしているんで、香港でこういうことを記録しないと、ダメなんじゃないですか？」

天安門記念館 反対運動の代表（吹替）「ノーコメントです。私たち80年代生まれの人間は事件をよく知りませんから。」

ナレ「反対派が、ビルに入ってこないよう、スタッフが見張る。」

日下部「結構反対の声を上げている人いますね。」

天安門記念館のスタッフ（字幕）「彼らはお金をもらってやっってるんです。」

ナレ「天安門事件を風化させまいと、事件関連の写真や資料が展示してある。記念館が別の場所にあった時には、ビルの管理組合が、部屋の目的外使用だと訴え、閉館に追い込まれてしまった。館内の撮影をしていると突然フル装備の消防士たちが、入ってきた。ガスが漏れていると、消防に通報があったという。」

"消防士（字幕）「ここにガスのパイプはありませんか？」

館長（字幕）「ないです。悪質な通報でしょう。」

消防士（字幕）「わかります。我々も来たくて来たんじゃないです。」 "

ナレ「嫌がらせの通報だったようだ。」

ナレ「さらに、今香港で、一国二制度を大きく揺るがす事態が起きている。」

[VTR 2]

ナレ「かつて、天安門事件で、中国の学生を助けた香港は、中国に飲み込まれてしまうのだろうか。4月上旬、中国本土に容疑者を引き渡すことが可能になる逃亡犯条例の改正案が議会に提出された。香港政府は、政治犯は対象にならないとしているが、民主派は、中国共産党に批判的な人物の事件をでっち上げ、引き渡しを迫る恐れがあると、廃案を求めている。この条例をめぐり、大きな決断をした人がいる。リン・エイキ氏。」

ナレ「中国共産党に批判的な本を発行、販売していたが、4年前、中国本土に入った時、禁書を買っていたとして、当局に拘束された。」

林榮基氏（吹替）「新しく制定される逃亡犯条例は、香港政府を通じて、中国の憲法を香港で実行するようなものです。これは香港にとって、ものすごい衝撃になるでしょう。」

日下部「あの林さん自身もですね、もしこの条例ができたらですね、非常にもしかしたら、引き渡される対象になっちゃうんじゃないですか？」

林氏（吹替）「当然です。私は、条例が施行される前にここを離れる準備をしています。」

ナレ「このインタビューのまさに翌日の事だった。林さんは香港を出国。亡命の為、台湾へと旅立った。」

集会参加者（字幕）「♪どれほど雨に打たれても自由の花は咲く夢は死なないと、覚えておこう」

ナレ「今年も、天安門事件の日に開かれたキャンドル集会。事件の翌年から毎年行われてきたが、今回の参加者数は、過去最大規模だった。その背景には、30年の節目の年であること。そして逃亡犯条例改正など、強まる中国からの圧力への反発もある」

日下部「えー天安門事件直後、香港の人たちは、中国本土の自由ですか、民主化を支持してこの公園に集まってきました。30年経った今夜、ここに集まった香港の人たちはいま、何を思ったんでしょうか中国本土の事だけでなく、中国からの圧力によって揺らいでいる自らの自由、香港の民主主義にも思いを馳せたのかもしれない。」

香港市民男性（吹替）「死者のことで心が痛むのと同時に、国全体に対しても、心を痛めています。」

香港市民女性（吹替）「30周年なので、初めて（子供を）連れてきました。新しい世代に1989年に起きたことを知ってほしかったんです。」

"日下部「30年後も、この集会できると思いませんか？」

香港市民男性（吹替）「無くなるかもしれません。取り締まりがだんだん厳しくなってますから。」 "

ナレ「集会には、天安門事件で指名手配された学生たちを、海外に脱出させた朱牧師の姿があった。彼にとっても、天安門事件は終わっていない。」

朱牧師（字幕）「天安門では銃声が鳴り響き、人々が射殺されていきました。装甲車が人々の体を押しつぶしていきました。私たち中国人の心も押し潰してしまいました。（しかし）立ち向かえば、正義を持たない政権は人民の力で崩壊するのです。」

VTR をうけてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返し繰り返された。

日下部「えー香港では、今ですね、VTR にあった逃亡犯条例の撤回を求めていますね、大規模なデモが予定されているんですけども、市民の関心相当高いんですね。まあ香港というのはですね歴史的にですね、中国本土からの避難場所だったわけです。例えば国共内戦ですとか、文化大革命、天安門事件。そのことあるごとにですね、中国から香港に人々が逃げてきたわけですね。ですから中国への容疑者の引き渡しているというのは、香港の性格自体を変えてしまうんじゃないかと、香港の人たちは本能的にその危うさっていうのを感じてるんじゃないでしょうか。」

膳場「そうですね。特に香港では、中国からの圧力に反発する人たちが、天安門事件を忘れまいと、立ち上がってますけれども、一方の中国本土では、天安門事件を報じるニュースが遮断されたり、海外ニュースが遮断されたり、あと、ネットの検索が規制されることで、天安門事件の風化が心配されますよね。実態はどうなってるのでしょうか。」

日下部「確かにそうなんですけれども、6月4日の追悼集会ではですね、中国の人も多く見かけました。まああのビデオ通話なんかを通じてですね、中国と映像を送ったりしているわけですね。確かに事件を知らない人、無関心層が増えているんですけども、一方で30年前に何が起きたのか、知っている人も確実にいるわけで、こう、追悼集会を続ける意味ってそこにあると思うんですね。」

金平「あの僕はTBSで働いていたんでね、あの日の衝撃って忘れられないんですけども、今更ながらあの事件が今にもたらした影響の大きさっていうのを思い知らされましたですね。」

日下部「香港にはですね、虐殺は無かったっていう人が徐々に増えているんですね。30年前、香港では、完全に共産党よりだった新聞もですね、弾圧を徹底的に批判したんですね。ただ時間の経過とともにですね、特に身内が犯した過ちについてはですね、きちんと向き合うことがだんだん難しくなる。これは決して香港だけのことじゃないと思います。」

この特集に当てられた時間は1707秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・オープニング

金平茂紀キャスターが「ええ、老後の暮らしのためには年金以外に2000万円の蓄えが必要だとした金融庁の報告書が波紋を広げています。政府は慌てて釈明していますが、年金は100年安心と言っていたのは他ならぬ政府だったのではないのでしょうか、場合によっては謝罪ごときでは済まないと思うのですが、皆さんどうお考えでしょうか。」とコメントしていたように、確かに政府は「年金は100年安心と言っていた」が、それは2004年の小泉政権での年金改革の時の話であったが、その後もこの15年間「消えた年金問題」は言うに及ばず、「税と社会保障の一体改革」など、年金や社会保障はその持続可能性が常に疑問視され続けてきたし、メディアも疑いの目を向け続けていた。こうした経緯があるにもかかわらず「年金は100年安心と言っていたのは他ならぬ政府だったのではないのでしょうか」などと、「年金は100年安心」という政府の言葉をいかにも信じていたかのようなコメントにはいささか白々しさを感じてしまった。

謝罪ごときでは済まないとしたら、現時点では信用できない公的年金制度について、信用の回復を期待して今後も続けていく、というのは果たして望ましいことなのだろうか。